

交通行動に関わる 人間の心理特性について

自転車関連事故、高齢ドライバーの事故、子どもの事故等、道路上では日常的に様々な事故が発生しています。交通事故の原因の多数を占めるのはヒューマンエラーと言われますが、事故に結びつく人間特性を概観しながら、安全に道路を利用するための方法について考えます。

神 田 直 弥 教授

●出張講義分野

ヒューマンエラー防止、交通心理学

●研究分野のキーワード

道路交通、公共交通、事故防止

●専門分野

安全人間工学、交通心理学

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://e-sahf.jp/koeki/>



大学ではこんなことを研究しています

最近は運転免許の返納や公共交通の利用に関心を持っています。質問紙調査やインタビュー調査を通して免許返納後の不安や、公共交通への要望を明らかにしています。これらに基づき免許を手離しても安心をして生活することができるようにするための方策について検討しています。

先生からメッセージ

困難なことにできる限り挑戦してください。現在の自分の実力でできるだろうと思うことばかりしていても成長できません。難しいことにチャレンジすることで、自分の課題が見えてきますし、強みも見えてきます。課題を理解することは成長のチャンスにも繋がります。本学ではインターンシップやプロジェクト型応用演習等、課題に取り組む演習科目を多数取り揃えています。また、企画を立案して実践するような課外の活動も豊富に行われています。こうした機会を活用して、充実した4年間を是非過ごしてください。

略歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程後期課程修了。博士(人間科学)。
2005年4月より東北公益文科大学講師。准教授を経て、2015年4月より現職。
2016年4月～2020年3月公益学部長。2020年4月より東北公益文科大学学長。